

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成24年度第1回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成24年4月19日(木) 18時30分から20時20分まで			
開催場所	墨田区役所3階 31会議室			
出席者数	<p>【委員17人】</p> <p>阿久沢委員 伊藤委員 宇田川委員 久保田委員 小池委員 小木曾委員 島崎委員 清水委員 高橋委員 中島委員 永岡委員 野島委員 森下委員 柳委員 横井委員 吉田委員 依田委員</p> <p>【事務局5人】 環境保全課長、環境管理担当主査及び職員</p>			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議題	1 すみだ環境の共創プランの改定報告について 2 平成24年度年間計画(取組み)について 3 その他			
配付資料	1 「すみだ環境の共創プラン(すみだ環境基本計画兼墨田区地球温暖化対策地域推進計画)」(改定素案)に関する意見及び対応について 2 平成24年度年間計画(案) 3 その他、情報提供			
会議概要	<p>1. すみだ環境の共創プランの改定報告</p> <p>環境保全課主査から、資料1及びすみだ環境の共創プラン<改定版>冊子に基づき、改定の経緯、すみだ環境共創区民会議等への改定案の提示、パブリックコメント及び基本計画1～5等について説明を受けた。</p> <p>2. 平成24年度年間計画(取組み)</p> <p>環境保全課職員及び主査から、資料2に基づき、平成24年度すみだ環境共創区民会議平成24年度年度計画(案)について提案を受け、意見交換を行った。</p> <p>【主な意見等】</p> <p>意見というよりは、確認という意味で伺いたいのですが、計画の中で取組みの検討が9月から12月に計画をされています。私のざっくりとしたイメージでは、すみだ環境共創区民会議は、墨田区の何か具体的な事業を行っていくと思っていた。この時期に検討を行うということは、来年度の事業を検討していくのか、そうではなく既に区で計画された事業をいかに盛り上げていくかを検討していくのか、教えていただきたい。</p> <p>(事務局 職員)</p>			

区の事業とは別と考えています。今年度の検討は来年度の環境フェア等で成果を発表できればと考えています。

(事務局 主査)

補足ですが、今回の計画(案)をお示した件は、まったくのたたき台です。取組みの検討の意味ですが、その前に3回の勉強会がありますが、ここで勉強したことを何か取組みに移すという意味です。たとえば、省エネについて勉強をしたとしますと、その省エネを勉強した結果、どういう取組みがすみだ環境共創区民会議の中でできるのか、そういうことを検討していただき実践に移すという意味での取組みで、来年度予算・事業に反映させるとかという意味で書いているものではありません。

すみだ環境共創区民会議で新たに事業を立ち上げることができれば、区の目玉になるのではないかと思います、期待も込めて確認させてもらった。

このすみだ環境共創区民会議は、墨田区の他の会議に比べ特殊な組織だと思う。普通は事業を行うためサポートを依頼する組織(会議)が多いと思うが、この会議はどのような目標に向かって行うというような区の要請は難しいと思う。

この会議は、具体的に何かをやるという提案をして、みんなで検討をして、成し遂げるといっていいのではないかと、私は捉えています。今日は、第1回目の会議ですから、いろいろな案を出してもらいたい。

プランからテーマやしたいことを出すことは難しい。しかし、今回出された計画(案)の中で再生可能エネルギー関連施設又は区内事業所施設見学という項目が示されている。これこそスカイツリーとの環境問題等を考えるうえでもスカイツリーを見学したほうがよい。スカイツリーのすばらしい環境対策を墨田の子供たちに教えることが大切だと思う。

年度計画(案)については、勉強会・取組みの検討はとても必要な項目だと思う。今回改定されたすみだ環境の共創プランでは、5年後の墨田区は環境面の取組みで世界に誇れる街とすると書かれている。5年後にはこの数値目標が達成されることであって、行政だけがやっていることでなく、すみだ環境共創区民会議にも改定(案)が示され、みんなで考えたことでもあるので、区民、企業、行政がこの数値目標を達成するために何ができるのかを考えていかなければならない。区民の代表としてこのすみだ環境共創区民会議に参加しているので、区民の方々に環境共創プラン等をどうやって知らせていくのか、その目標を達成するために議論をしているのか等を環境フェアなどで発信していかなければならない。今回提案された年度計画(案)はたたき台ということですが、環境プランの数値目標に対して区民一人ひとりが何をすべきか、企業として何ができるのかを話し合いながら、新しい意見がでてくるとよいと思う。

年間計画(案)について、基本目標1から5を毎回一つずつ5ヶ月検討をしたらどうか。事前に検討項目を決めて、関連する他の部署の職員にも参加をしてもらう。また、事業者のエコアクションの項目もあるので、事業者の方も呼び込んで検討したらどうか。1ヶ月前に検討項目を設定して、次回の会議では必ず一言は発言するようにしてはどうか。それを基本目標1から5まで行い、出された意見の中から取組みの検討に生かせたらと思う。

今の意見は非常によいことだと思う。今年の会議では、私はたいしたことをやっていなかった。すみだ環境の共創プランを実行するために議題を絞ることはよい。環境というのは範囲が広いので、昨年は何のために会議に出席しているのかと感じていた。すみだ環

境共創区民会議は議題を絞って進めてもらいたい。

ポイントを絞るということは大事だと思う。すみだ環境の共創プランに基づく具体的事業をすみだ環境共創区民会議の発想の中から新しいアイデアを生み出し、次年度に向けて予算化できたら、区の新しい目玉と成りうる事業に成るかもしれない。すみだ環境の共創プランを叶える具体的個別事業を作り上げることを提案したい。

私も何か一つ事業というような形のほうがよいかなと思うが、年間12回の会議回数なので一つの事業は難しいのかなとも考えている。環境フェア等ですみだ環境共創区民会議のことをもっと区民の方へアピールすることも大切なのかなと感じている。

基本的には、すみだ環境の共創プランを検証していくことが一番大事だと思う。今年はスカイツリーが開業をすることもあり、墨田区がどのように変わっていくのか、スカイツリーから考えていく。墨田区の環境状態はどうあるべきか、プランに基づきどうあるべきか、達成されていくかを検証していけばよい。まず、検証内容を検討して、事業所等の意見を聞き、最終的にどういう方向に進めばよいのかを決める。基本目標の5つの項目を全部一度に行っても、範囲が広すぎて掴みどころがないので、対象を一つに絞ると考えやすいと思う。

年度計画の策定については、昨年度のアンケートに記載されてもらった。議題の課題を一つに絞ったほうがよいのか、二つぐらい持ったほうがよいのか、皆さんと話し合っ 24年度進めていければと思っています。

議題を決めて話し合いをする。基本目標1から5を話し合っ、その成果を一つでも環境フェア等で発表をする。

発表の方法等は、検討の中で決まってくると思う。具体的検討内容についてはまだわからないが、検討の流れができればよいと思う。

この会議はすみだ環境の共創プランを作る会議ですか。このプランには5つの基本目標がある。私は生活学校の会長をやって30年になるが、基本目標の1・4・5については、環境づくりでやってきている。会員の皆さんは、天水尊を設置できない家庭では風呂水を流さないで、防火用水の代わりにする、洗濯の水に使う、トイレに流すようにしている。なるべく一度水道の蛇口から出てきた水はその量によって料金が決まる。それにあわせて下水道料金も掛かる。いったん蛇口から出た水は一回で流さないでいろいろ使うよう私たち主婦の集団はやってきている。循環型のまちづくりについても、廃品回収で回収した古紙を業者がトイレットペーパーに作り直し、また区民に使っていただくという循環型のまちづくりを構築して、墨田生活学校では大臣賞も頂いた。そういう活動をずっとやっている。基本目標の1・4・5は区民がずっとやっていること。これから取り組まなければならないことは、基本目標の2と3。家庭の主婦には直接は関係がない問題だが、大切なこと。どのように取り組んでいくのか、その方法を皆さんの話し合いで決めていただけたら、会員へ指導をしていく。この会議で決まったことが、区民に徹底されなければ、意味はない。机上の空論では意味がない。実際にできる内容を検討して、プランとして提示をしていただきたい。昨年1年間、この会議に参加させてもらって、ここの目的がはっきり理解できない。

すみだ環境共創区民会議をセミナー等でもっと区民に知らせてもらいたい。今回のすみだ環境の共創プラン<改訂版>の冊子を学校にも配布した方がよい。

スカイツリーの注目度、発信力等を墨田区の環境施策に生かした方がよい。自分ので

きることとして、区報を使ってスカイツリーの模型を作った。具体的にどのように進めていくかはまだなので、みなさんにアイデアを出してもらいたい。

この会議には、もともと区の方からお話があり、区民として、生活するのに緑が多く散歩ができて気持ちの良い環境の中で生活するために、その方向性にお役に立てれば有意義であると参加をしました。昨年度はそのようなことはなく、すみだ環境の共創プランのペーパーを作るのに協力をしたかなと思っています。改定版は、ダイオキシンのことは気に入らないが、前回に比べると尤もなものが出来ていると思います。この会議への参加の意義として、プランの目標を議題として、意見やアイデアを出して区に実現をしてもらう。それが現実的かなと思っています。ただ、基本目標は5つしかありませんので、スカイツリーや脱原発等を議題にしてもよいと思う。議論の中で使えるアイデアが出たら、区に実現してもらいたい。この会議では予算が最初からあって何かをするということがないので、実現されるものがあり得ない感じがする。そうであるならば、アイデアを出して、それを区が実現できるのかを判断していただければよい。

私もこのすみだ環境共創区民会議は、こういうことをやってもらいたい、区ではやっていないがこういうことをやってもらって墨田区をよくしてもらいたいと、そういう意見の場だと思ってこの会議に参加した。しかし、去年1年間はそういう具体的な意見を述べる機会もなかったし、広範囲な議題がいっぱいあるのでなかなか難しいと思った。一つ一つ議題を絞って議論をしていく中で、実現可能なものを見つけていくという方向性がよい。いつも何だかのが絞れないようなことばかりやっても先に進まない。このプランがあるのだから、実行されているのか、具体的にこうした方がいいんじゃないのかとか、いろんな意見を出していけば何か出てくると思う。それを具体化していくために、意見を出す場にしたい方がよい。そういう会議の場でなければいけない。そうでなければ何のためのすみだ環境共創区民会議だと思う。

皆さんも思っていると思うのですが、なぜこの会議に出ているのか、なぜ広がっていかないのか、本当に難しいことで、そのやり方も勉強していかなければいけないと最近思っています。プランに5年後の墨田は環境面での取り組みにおいても世界に誇れる街、となっている。では、世界に誇れる街とはどんなのだろう。今年地球サミットという10年に1回の国際的な大きな会議があり、世界百何十カ国の首相が集まる会議で「環境未来都市」が一つのテーマになっている。そういうのをもっとみんなで勉強をして、実現するためにはどうしたらよいのか、区民や行政やいろんな人が関わり、どういう仕組みがよいのか、一つの勉強をするきっかけだと思ふ。今、スカイツリーもできて街が変わってくるので、参加できるときだと思ふ。

確認だけさせていただきます。すみだ環境の共創プラン<改定版>冊子 111 ページを開いてください。区民会議は次に掲げる事項を行うというのが書いてあります。第 20 条。すみだ環境共創区民会議の設置という項目です。区民会議は次に掲げる事項を行う。1 環境基本計画のうち、区民及び事業者の活動と区の施策との整合性に関し協議すること。2 環境の共創に関する実践活動を行うこと。これが大きな柱と私は理解しています。冊子 48 ページの基本目標5を開いてください。環境にやさしい人づくりです。大震災やスカイツリーの開業等、墨田区の環境は大きく変わります。そういった環境の変化に配慮した生活様式を身につける。こういったライフスタイルが墨田区民に必要なのか。そういった

考える機会を墨田区民に持ってもら。そのためにどういことをやるか。区民・事業者・区等の環境問題に関する現状と課題を共有し、先ほど、委員からスカイツリーの見学、区内事業所施設見学とありましたが、事業所が何をやっているのか、事業者がどういことを課題としているのか、理解することは非常に大事だと思います。こういうことを理解したうえで、すみだ環境の共創プランを一つ一つ検討に入っていく。まず現状を理解したうえで、すみだ環境の共創プランについて理解を深めて、何が課題なのか、それを理解したうえでないとこの会議は進んでいかないと考えています。すみだ環境共創区民会議の進め方というのは、私はそう理解しています。

(事務局 課長)

皆さん全員からご意見をいただきありがとうございます。皆さんの意見を総合的にまとめると3つぐらいあるのかなと思います。一つは事業者、スカイツリー関係の環境を把握することが一つ。それからこのすみだ環境の共創プランをみなさんと検討していくうえで適材を絞ってやっていくことが一つ。もう一つはそれを何らかの場で発表する、或いは予算化する、或いは講演会を開くというような発表の場と、合わせて三つかなと感じました。もう一度事務局で案を練って、皆様にご提示できればと思っております。

それから、今日は今年の第1回目ですので、今年も1年よろしくお願ひします。

3つほど最近の施策をお話をさせていただきます。

一点目は放射能の問題です。安全安心の部分でもあります。今年も定点の測定については行っておりますが、その他比較的高い所も測っていきます。それから学校、幼稚園、保育園の給食を毎月1回は必ず測定を行います。新しい測定器を6月に購入し、保健所で測定して公表していきます。

二点目は緑の関係、緑と花のまちづくり地域推進制度です。タワー周辺の美化活動ですが、緑化ですから、基本目標の3・4に入ってきます。新しく整備される北十間川の転落防止柵、いわゆる手すり・欄干にハンギングバスケットを、或いは目線の位置にプランターを北と南に設置します。水やりはシルバー人材センターにお願いします。それに、観光客が多く訪れる浅草通り沿いですが、ここは都道ですので、なかなか東京都の施設の電柱等に作ることは難しいため、商店にお願いをして、都道にはみ出ないように商店の民地に、下にプランターを置いて、ラティスを作り上にハンギングバスケットを下げる。それも押上・業平橋町会の商店街のご協力を得て、タワーの開業に間に合うよう進めております。

最後に、心配なことなんですが、環境保全課で取り組んでいかなければならないことなんですが、それは節電です。昨年は大震災があり、皆さん方・事業者の方、特に事業者の方はかなり意識が高く、日曜日に勤務を振り替えたり、平日のピークカットについてかなりご協力をいただきました。今年も引き続きご協力いただけるか、非常に不安があります。その辺につきましても、これからしっかりと区としてアピールしていかなければいけないのかなと、区民の皆様方にご理解を得ていかなければいけないのかなと考えています。この3つが直近の課題かなと考えております。

今東京スカイツリーを中心にした環境問題が出されていますが、私たちがそのことを中心に環境問題を話し合えば、話し合いがまとまるのではないかと。今は何をどう話しているのか訳が解らない。

(事務局 課長)

	<p>今私が話したことは、皆さんから出てきた意見の中で多かったので、東京スカイツリーを中心にした環境問題の話をしました。</p> <p>今日の意見を取りまとめて、来月また議論をしたほうがよい。</p> <p>議題について、今日に次回の議題を決めていただけると、検討する時間が確保できる。</p> <p>(事務局 主査)</p> <p>本論に入りましたら、そういうやり方でやっていきたいと思います。今回は、今日出された意見を事務局でまとめますので、次回どういうことでやっていくか、この場で決めていきたいと思います。進行の具合で、次回はどういうことをテーマに検討をしましょうと、この場で決めるということです。</p>
所 管 課	区民活動推進部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5463